

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	日本倫理思想史ⅡB	単位数 ※	
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金 1
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p>〈授業の概要〉 日本倫理思想史の基礎的な内容の修得をめざす。日本の思想はしばしば他の地域の文化・思想の雑居態とみなされるが、その具体像はいったいどのようなものなのだろうか。本授業では、近世から近代までの日本倫理思想史の展開を大きくおさえる。</p> <p>〈授業の目的と到達目標〉 我が国の倫理思想をめぐる豊かな教養を身につける。</p> <p>〈授業の形態〉 ・原則対面講義（対話回のみzoom）、google classroom使用。 〈必要な準備学習（必要となる時間）〉 予習：翌週使用資料の事前精読学習や課題等（2時間） 復習：当該週の学習内容の整理と発展的思索（2時間）</p>		
到達目標			
授業内容	<p>ガイダンスと反省 日本倫理思想史という学 対話：日本倫理思想史はどう学ぶ《べき》か 仁の共同体をめざして 人は生まれながらに善きものである 善く生きることの難しさ質問への応答・課題 対話まとめ（近世） 近代化とはなにか 独立自尊の精神をめぐって 我であるとともに我々でもあること質問への応答・課題 対話まとめ（近代）</p>		
授業形態	対面		

評価方法 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・全3回の小課題〔600字目安〕の成果（20点×3）、質問・「問い」の提出（10点×2）、対話参加（20点） ※ただし、「対話」回に1回も出席・参加していない場合には単位を発行しない。 ・学期末に実施予定のこの授業の「学び」に関する独自アンケートへの回答を単位認定の前提条件とする。
評価基準	
テキスト	
注意事項	<p style="color: red;">この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。</p>
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	東南アジア政治経済論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金 1
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p><授業の概要> 本講義では、東南アジア地域および各国における政治経済の現状と、それぞれが抱える問題を理解することにより、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目指す。</p> <p><授業の目的と到達目標> 東南アジア地域および各国に関する基本知識、それらの歴史的背景、そして政治経済の現状と、現在抱える問題を理解する。</p> <p><必要な準備学習> 予習：次回授業用の資料を読み、不明な用語を予習。（2時間） 復習：資料やノートを見返し、授業で得た知識や理解した内容の確認。（2時間）</p>		
到達目標			
授業内容	<p>イントロダクション: 東南アジアというまとまりと、その国々 ミャンマー（ビルマ） タイ ベトナム カンボジア、ラオス フィリピン マレーシア、シンガポール、ブルネイ インドネシア 東チモール 冷戦下の東南アジア ASEANの発展 東南アジアの対外関係 東南アジアの人権問題 東南アジアの紛争 まとめと今後の課題</p>		
授業形態	対面		

評価方法 ※	筆記試験
評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/ ）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部・経営学科
科目名 ※	原価計算論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金-1
キャンパス※		教室※	208
学修分野			
授業目的 ※	<p>原価計算は、製品の原価を正確に計算することを目的として誕生したが、経営環境の変化に対応し、原価管理、利益管理、さらには意思決定などの経営管理の技法として発展してきた。</p> <p>本講義では、財務諸表作成目的のために行われる製品原価算定のための原価計算について主として学習する。</p> <p>なお、この科目は卒業認定・学位授与の方針のうち、特に【経営学に関する専門知識や技能、学修目標1】に資する科目である。</p>		
到達目標	<p>①原価計算および原価の意義を理解することを目標とする。</p> <p>②費目別計算（材料費、労務費、経費）について理解することを目標とする。</p> <p>③部門別計算について理解することを目標とする。</p> <p>④個別原価計算と総合原価計算の基礎を理解することを目標とする。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>第1回 原価および原価計算の意義</p> <p>第2回 原価の分類</p> <p>第3回 材料費の計算①－購入原価の計算－</p> <p>第4回 材料費の計算②－消費額の計算－</p> <p>第5回 労務費の計算①－支払賃金の計算－</p> <p>第6回 労務費の計算②－消費賃金の計算－</p> <p>第7回 経費の計算</p> <p>第8回 中間テスト、製造間接費の意義</p> <p>第9回 製造間接費の計算①－実際配賦－</p> <p>第10回 製造間接費の計算②－予定配賦－</p> <p>第11回 部門費の計算①－第1次集計－</p> <p>第12回 部門費の計算②－第2次集計－</p> <p>第13回 個別原価計算の基礎</p> <p>第14回 総合原価計算の基礎</p> <p>第15回 原価計算の目的と体系</p>		
評価方法 ※	<p>期末試験70%、平常点30%（中間テスト、課題の提出状況）で評価する。</p> <p>中間テストは採点后に返却し、解説を行うことにより、受講者の理解を深める。</p>		

評価基準	
テキスト	建部宏明・山浦裕幸・長屋信義『基本原価計算(第五版)』同文館
注意事項	日商簿記2級（工業簿記）相当の学習を行うが、簿記的な処理よりも理論・計算を中心に行うため、必ずしも簿記の基礎的知識は必要としない。
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/syllabusgaku/default.asp?cdga=1

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	コミュニティ政策
科目名 ※	社会福祉論	単位数 ※	2
開講学期※	2022年度 前学期	曜日・時限 ※	金曜2限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	12-101
学修分野			
授業目的 ※	誰もが社会福祉と無関係ではない。だからこそ、社会福祉諸制度の目的や歴史や諸制度の概要を理解し、人生のどのようなときに社会福祉諸制度と関わるかを理解することを主たる目的とする。また、社会福祉の理論・思想の基礎的な理解、ならびに社会福祉援助技術に込められた人間観・社会観を学習する。さらに受講生が自らの「コミュニティ政策学」の視点を育てる一助とすることも合わせて目的とする。		
到達目標	①社会福祉の体系や基本的な語句の意味を理解する。②仕事や生活を営む上で抱えた福祉課題にとって必要な社会福祉諸制度や、考え方または関連方法の基礎的知識を習得する。③「コミュニティと社会福祉」に関する自分なりの問題意識を育む。		
授業内容 授業形態 ※	<p>(1) 社会福祉の理念・思想（ノーマライゼーション等）、(2) 社会福祉の対象理解および援助方法（障害の社会モデル、「当事者研究」）、(3) 社会福祉行財政、(4) 社会関連諸制度の概要（年金保険、介護保険、医療保険等）を理解する</p> <p>授業形態は新型コロナウイルス感染の状況に応じて変化する可能性があるため2つの授業形態別に記す。</p> <p>【遠隔授業】 配信授業資料および動画で授業内容のポイントを示し理解度をチェックするとともに、意見・疑問等を求める。それらを匿名化した上で、教員の見解とともに受講生全員で共有することで、双方向型授業（アクティブラーニング）とする。</p> <p>【対面授業】 基本的に講義形式で行うが、その中にアクティブラーニングの手法を導入し、福祉福祉の諸課題についての学生の主体的参加や能動的学習を重視した授業を実施する。また、DVDやビデオ等の映像資料を参考に、現実の社会問題について学び、課題や解決策をレポートする。</p>		
評価方法 ※	①ほぼ毎回の授業での学びをまとめた「リアクションペーパー」、②2回程度の「小レポート」の質により総合的に評価する。なお、出席に関して、学生証を忘れた場合のメモによる出席は2回まで認める（3回目からは認めない）ので学生証はいつも携帯すること。		
評価基準	リアクションペーパー50点、小レポート50点		
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。		
注意事項	事前・事後学習をおこなうこと。参考文献を精力的に読んでみることを。		

授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp
--------	---

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部・経済学科
科目名 ※	国際金融論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金-2
キャンパス※		教室※	208
学修分野			
授業目的 ※	<p>金融とは文字通り、お「金」を「融」通すること、つまり資本（お金）の貸借を意味する。そして、国際金融とはこの資本の国際的な取引を指す。金融取引の国際化はさらに深化し、一国の金融問題が世界中に波及するリスクもさらに高まっているとともに、国際金融論を学ぶ意義も深くなっているといえる。この授業では、まず国際的な金融取引の仕組みを解説し、それに伴う経済的諸問題を概観する。次に、理論的な見地から望ましい国際金融システムの構築を展望する。なお、この科目は卒業認定・学位授与の方針のうち、特に経済学の専門知識・思考力、学修目標Ⅱに資する科目である。</p>		
到達目標	<p>国際的な金融取引の現状と問題を理解すること、そして国際金融論の知識をもとに、問題の解決策を自分なりに考え、論じることができるようになることを目標とする。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>第1回 為替レートの変動 第2回 円ドルレートと日本の貿易 第3回 国際収支統計 第4回 外国為替市場と為替リスク 第5回 為替制度と金融政策 第6回 金融政策と中央銀行のバランスシート 第7回 一物一価 第8回 内外の物価水準と為替レートの関係 第9回 実質為替レート 第10回 国内金利平価 第11回 カバー付き金利平価 第12回 カバーなし金利平価 第13回 金融政策の目的と目標 第14回 マネタリー・アプローチ(1)貨幣市場の均衡 第15回 マネタリー・アプローチ(2)為替レート決定式</p>		
評価方法 ※	<p>課題の取り組み20%、期末試験の成績80%。課題や試験のフィードバックはTeamsを使って行う。</p>		

評価基準	
テキスト	指定なし.
注意事項	授業は板書を使って行うので、国際金融論Iの専用ノートを用意すること。なお、履修にあたっては初級マクロ経済学の知識を有していることが望ましい。書くまでもないが、私語は現厳禁である。
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/syllabusgaku/default.asp?cdga=1

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	帝京平成大学	学部・学科名 ※	健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科
科目名 ※	スポーツコンディショニング	単位数 ※	2 単位
開講学期 ※	前期	曜日・時限 ※	金曜日 2 限
キャンパス ※	千葉キャンパス	教室 ※	6-215
学修分野			
授業目的 ※	<p>スポーツにおける最大目標は、競技成績の向上です。即ち、スポーツはパフォーマンスの競い合いであり、実際の競技の場において個人の持つ最大能力の発揮が要求されます。運動およびスポーツは生体に対する極めて大きなストレスであり、そのストレス解除により大きなトレーニング効果が期待できます。したがって、運動後の回復の仕方が、重要な意味を示す事になります。この「スポーツコンディショニング」では、スポーツ医学を基礎とした生体の運動刺激・回復過程の特徴を学びます。</p>		
到達目標	<p>運動専門家に必要とされる、運動生理学に基づくスポーツコンディショニングの基礎を理解し説明できる。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>トレーニングおよびスポーツコンディショニングに関する次の概要を説明できる。①疲労・ストレス ②喫煙の影響 ③貧血と対策 ④スタミナ ⑤筋グリコーゲン ⑥スプリント ⑦サーカディアンリズム ⑧心拍数の指標 ⑨体重の指標 ⑩体温の指標 ⑪水分補給 ⑫ストレッチング ⑬アイシング</p> <p>この授業は、学生が興味を持ったキーワードやテーマをもとに、グループワークやグループディスカッションを行います。またリアクションペーパーを用いて授業の後半に教員が設けたテーマについて記述し提出してもらいます。</p>		
評価方法 ※	<p>定期試験70%、授業内での小テストおよびレポート課題などの平常点30%</p>		
評価基準			
テキスト	<p>適宜プリントを配布します。</p>		
注意事項			
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	帝京平成大学	学部・学科名 ※	健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科
科目名 ※	スポーツ倫理	単位数 ※	2単位
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金曜日 2限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	6-206
学修分野			
授業目的 ※	本授業では、ジュニア期のスポーツに焦点を当て、現代社会が抱える子どものからだところの問題を把握し、子どもの発育発達に欠かせないあそび・運動・スポーツの現代的な意義を、スポーツ倫理の側面から概説する。		
到達目標	本授業を通じて、ジュニア期のスポーツ指導者としての基礎知識や指導者としての倫理観を学び、子どもとのコミュニケーションスキルについて説明できるようになる。		
授業内容 授業形態 ※	本授業では、ジュニア期のスポーツの考え方、子どもの発達とコミュニケーションスキルといった具体的なテーマについて、スポーツ倫理の側面から学ぶ。また、スポーツ指導者にとって「やる気」を起こさせる指導がいかに重要であるか、スポーツの楽しさをいかに伝えていくかの基本的なスキルについて学ぶ。授業の後半は、講義だけでなくグループワークを中心に行う。		
評価方法 ※	毎回の授業内小レポート・授業外学習（50%）及び定期試験に代わる授業外レポート（50%）とし、総合的に評価する。		
評価基準			
テキスト	指定テキストは特にない。必要な教材は随時配布もしくは紹介する。		
注意事項			
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	韓国語文法論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金2
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p>この授業の目的は、韓国語能力試験（TOPIK）最上級である6級に合格できるだけの韓国語の文法能力を身に着けることである。</p> <p>The aim of this lecture is to improve the grammatical competence of Korean language in order to pass the 6th grade of Test of Proficiency in Korean.</p>		
到達目標			
	<p>【事前学習内容】2時間 シラバスを読んで授業のアウトラインを理解する</p> <p>【講義内容】授業の概要の説明 韓国語能力試験の概要説明</p> <p>【事後学習内容】2時間 韓国語能力試験の内容に関して復習する</p> <p>【事前学習内容】2時間 韓国語の助詞の目録に目を通しておくこと</p> <p>【講義内容】助詞（1）</p> <p>【事後学習内容】2時間 今回説明した助詞について復習しておくこと</p> <p>【事前学習内容】2時間 今回の講義で説明する助詞の説明に目を通しておくこと</p> <p>【講義内容】助詞（2）</p> <p>【事後学習内容】2時間 今回説明した助詞について復習しておくこと</p> <p>【事前学習内容】2時間 韓国語の後置詞という概念について理解しておくこと</p> <p>単語テストの準備をしておくこと</p> <p>【講義内容】後置詞 単語テスト第1回</p> <p>【事後学習内容】2時間 今回説明した後置詞について復習しておくこと</p>		

授業内容

【事前学習内容】2時間 韓国語の終止形語尾の体系について予習しておくこと
単語テストの準備をしておくこと

【講義内容】終止形語尾（1）単語テスト第2回

【事後学習内容】2時間 今回学習した終止形語尾について復習しておくこと

【事前学習内容】2時間 今回の講義で説明する終止形語尾について予習しておくこと

単語テストの準備をしておくこと

【講義内容】終止形語尾（2）単語テスト第3回

【事後学習内容】2時間 今回説明した終止形語尾について復習しておくこと

【事前学習内容】2時間 韓国語の接続形語尾の全体の目録に目を通しておくこと

【講義内容】接続形語尾（1）単語テスト第4回

【事後学習内容】2時間 今回説明した接続形語尾について復習しておくこと

【事前学習内容】2時間 今回の講義で説明する接続形語尾について予習しておくこと

単語テストの準備をしておくこと

【講義内容】接続形語尾（2）単語テスト第5回

【事後学習内容】2時間 今回説明した接続形語尾について復習しておくこと

【事前学習内容】2時間 今回の講義で説明する接続形語尾について予習しておくこと

単語テストの準備をしておくこと

【講義内容】接続形語尾（3）単語テスト第6回

【事後学習内容】2時間 今回説明した接続形語尾について復習しておくこと

【事前学習内容】2時間 今回の講義で説明する接続形語尾について予習しておくこと

単語テストの準備をしておくこと

【講義内容】接続形語尾（4）単語テスト第7回

【事後学習内容】2時間 今回説明した接続形語尾について復習しておくこと

【事前学習内容】2時間 今回の講義で説明する接続形語尾について予習しておくこと

単語テストの準備をしておくこと

【講義内容】接続形語尾（5）単語テスト第8回

【事後学習内容】2時間 今回説明した接続形語尾について復習しておくこと

【事前学習内容】2時間 今回の講義で説明する接続形語尾について予習しておくこと

	<p>単語テストの準備をしておくこと</p> <p>【講義内容】 接続形語尾（6）単語テスト第9回</p> <p>【事後学習内容】 2時間 今回説明した接続形語尾について復習しておくこと</p> <p>【事前学習内容】 2時間 今回の講義で説明する作文対策について予習しておくこと</p> <p>単語テストの準備をしておくこと</p> <p>【講義内容】 作文対策（1）単語テスト第10回</p> <p>【事後学習内容】 2時間 今回説明した作文対策について復習しておくこと</p> <p>【事前学習内容】 2時間 今回の講義で説明する作文対策について予習しておくこと</p> <p>【講義内容】 作文対策（2）</p> <p>【事後学習内容】 2時間 今回説明した作文対策について復習しておくこと</p> <p>【事前学習内容】 2時間 今までのテキストを復習すること</p> <p>【講義内容】 期末試験と解説</p> <p>【事後学習内容】 2時間 期末試験でできなかった部分を復習すること</p>
授業形態 ※	対面
評価方法 ※	筆記試験，授業への貢献度を考慮して総合的に評価
評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/ ）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	日本語教育概論A	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金2
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p>1. コースの目標</p> <p>このコースは、日本語教員養成課程を履修している学生を対象とする。コース・デザインの基礎知識として、ニーズ調査、レディネス調査、シラバス作成、カリキュラム作成を中心に学ぶ。また、日本語教育に関係する様々な外国語教授法についても学ぶ。</p> <p>2. コース概要</p> <p>コース前半では、教科書「日本語教師の役割・コースデザイン」（国際交流基金）に沿って授業を進める。まず、国内外の日本語教育の対象者や日本語教育を取り巻く社会の動向を概観し、日本語教育人材にどのような知識が求められるかを整理する。次いで、日本語教育のコース・デザインにおけるニーズ調査、レディネス調査やシラバスおよびカリキュラム・デザインの留意点や、コース・デザインをする際に行う教材分析の方法について学ぶ。</p> <p>コース後半では、「初級を教える」（国際交流基金）に沿って授業を進める。コミュニケーションができることを目指した初級文法授業の流れを理解し、文型の導入、基本練習、応用練習の各段階における指導の留意点や授業活動などの授業の設計の枠組みを学ぶ。また、オーディオ・リンガル・メソッドやコミュニカティブ・アプローチなど、日本語教育に取り入れられている外国語教授法についても触れる。</p> <p>コースを通して、授業で学んだことを実際にやってみる作成課題を複数回課す。</p> <p>コースの前半、後半に数回小テストを行い、重要事項の確認と補足を行う。コース終盤には、コース全体の理解と応用力を問う期末試験を行い、その結果を基にコースのまとめと補足を行う。</p>		
到達目標			

授業内容	<p>【コース説明】</p> <p>【日本語教育と日本語教育人材】</p> <p><到達目標> 国内外の日本語教育の形態や対象者、および昨今の日本語教育を取り巻く動向を知り、本コースを履修する目的を確認する。【日本語学習者と日本語教師の役割】 [コース] p.2-7</p> <p><到達目標> 外国語学習に関する成人と子どもの違いを理解する。また、日本語教師の仕事内容について理解する。【コース・デザインとレディネス調査、ニーズ調査】 [コース] p.8-20</p> <p><到達目標> コース・デザインの流れを知る。また、デザインの過程で行うニーズ調査、レディネス調査について理解する。【シラバス・デザイン1】 [コース] p.21-27</p> <p><到達目標> シラバスの種類とそれぞれの特徴について理解し、説明できる。【シラバス・デザイン2、日本語の教科書】 [コース] p.28-30</p> <p><到達目標> 日本語教育でよく使われる教科書を分析し、その教科書を使用したシラバスを考えることができる。【カリキュラム・デザインと教材教具、外国語教授法の歴史】 [コース] p.30-47</p> <p><到達目標> プログラムの視点からコースデザインを考える。また、日本語の教材の種類や主な外国語教授法の流れについて理解する。【初級の教え方(1) 初級とは何か】 [初級] p.2-10</p> <p><到達目標> 日本語能力の判定の際によく使われる日本語能力試験とJFスタンダードの違いを理解し、それぞれの背景にある言語能力観の違いを理解する。【初級の教え方(2) 授業の流れ、文型の導入】 [初級] p.12-18</p> <p><到達目標> 言語習得のプロセスに沿った授業の流れを理解する。文法を導入する際の留意点を理解する。【初級の教え方(3) 基本練習1】 [初級] p.19-22</p> <p><到達目標> 文法授業において正しい形を覚えるための基本練習1について、目的・やり方の留意点を理解する。【初級の教え方(4) 基本練習2】 [初級] p.22-28</p> <p><到達目標> コミュニケーションができることを目指した文法授業における基本練習の留意点を理解する。【初級の教え方(5) 応用練習】 [初級] p.28-37</p> <p><到達目標> コミュニケーションができることを目指した文法授業における応用練習の留意点を理解する。【授業の設計】 [初級] p.38-56</p> <p><到達目標> コース前半で学習したコースデザインの流れを基に、初級授業を設計する方法について理解する。【中上級の教え方】</p> <p><到達目標> 中級・上級レベルの日本語の授業の特徴について理解する。</p> <p>【期末テスト】 【期末試験のフィードバックとコース全体のまとめ】</p>
授業形態	対面

評価方法 ※	<p>【主体的な取り組み50%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に課す課題への取り組み ・「まとめ課題」「作成課題」への取り組み ・授業中に他の学生と協働で取り組む課題 <p>【小テスト20%】</p> <p>【期末テスト30%】</p>
評価基準	
テキスト	
注意事項	<p>この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/) からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。</p>
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	インドネシアの歴史	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金2
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p><授業の概要> 本講義では、インドネシアの政治・経済・文化・宗教の歴史を学ぶことにより、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目指す。</p> <p><必要な準備学習> 予習：次回授業用の資料を読み、不明な用語を予習。（2時間） 復習：資料やノートを見返し、授業で得た知識や理解した内容の確認。（2時間）</p>		
到達目標	<p><授業の目的と到達目標> インドネシアの社会科学研究の基礎となる政治経済史の概要、およびそれに関連する文化や宗教の歴史を理解することを目的とする。オランダによる植民地国家の形成、オランダの支配から独立を目指すナショナリズム、太平洋戦争中の日本軍による占領、そして独立後の困難と展開を概観する。</p>		
授業内容	<p>イントロダクション: インドネシアの空間的・時間的広がり 大航海時代から領土支配へ オランダ領東インドの完成 ナショナリズムの勃興 日本軍政の衝撃(1942～45) 独立戦争(1945～49) 議会制民主主義とその衰退(1949～59) スカルノの「指導される民主主義」 1965年9月30日事件の衝撃 スハルト体制の成立と開発独裁 改革運動とスハルト体制崩壊 民主化の時代 言語と文学の歴史 ASEANのなかのインドネシアと日本 まとめと今後の課題</p>		

授業形態	対面
評価方法 ※	学期末の筆記テストによる。
評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/) からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	現代英文法B	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	火・3時限 金・3時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p>英語を客観的に観察する目を持って、「英語の実際の姿」をできるだけ体系的に捉えていく。高校までに習得した文法事項を「『木』を見て『森』を見ない」ような断片的知識の寄せ集めのままに終わらせないように、より大きな視野で英語の構造を観察する。一方で個々の単語が実際にどの様に使われているのかを学び、正確な文法知識を身につけることも目標にする。授業ではテキストで学んだ文法事項を実際の「ニュース記事」や「映画のセリフ」などで確認し、またできるだけ多くの練習問題を行う。このようなプロセスで「正確な文法知識を身につける」、また「正しい英文を作る能力を養う」ことを目指す。様々な授業で触れる英語、また学外で読んだり耳にしたりする英語から、「自分自身で英語の使用実態を学び取っていく力を培う」ことも目標とする。これから先、少なくとも学生時代の間は英語に触れることが多いはずであるが、その英語を『読み流す、聞き流す』のではなく、せっきくの英語のインプットから自然な単語の使い方、正しい構文の組み立て方を確認し、自分のものにしていく『文法感覚』を養うことも目指したい。授業は「講義」と「グループワーク」の両方を含む。特に例文の意味の確認や、問題の答え合わせは基本的にグループワークで行う。授業は対面形式で行われる。ただしゴールデンウィークの期間は対面授業が行われなため、オンラインの授業となる。なお授業の進捗状況により、スケジュール等が適宜変更されることもある。毎週（＝授業2回につき1回）、その週に学んだ文法事項の復習を兼ねた『宿題』を出す。</p> <p>◎「英語学概論」を履修済みであることが、この科目の「履修条件」となっている。なお、「学生便覧」に記されている通り、全ての講義科目は授業時間の倍の時間の自宅学習が必要とされる。「現代英文法」も、毎回の授業（90分）について、180分（＝3時間）の自宅学習が必要である（『宿題』を行う時間、『試験勉強』をする時間を含む）。</p>		
到達目標			

授業内容	
授業形態	対面
評価方法	<p>【成績評価】</p> <p>以下を総合的に評価する。</p> <p>試験（85%）</p> <p>平常点（授業への貢献度等）（15%）</p> <p>※ 『宿題』 への取り組みも平常点の中で評価される。</p> <p>※ 色々な学生とグループワークを行う際の「協力する姿勢」も平常点の中で評価される。</p> <p>≪試験未受験≫、≪宿題など未提出≫の場合は、「不可」となる。</p> <p>≪無断欠席≫が2回以上ある場合、「不可」となる。≪欠席≫は減点。</p>
評価基準	
テキスト	
注意事項	<p>この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。</p>
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉敬愛短期大学	学部・学科名 ※	現代子ども学科
科目名 ※	社会的養護 I	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金・4
キャンパス※	佐倉キャンパス	教室※	多目的
学修分野			
授業目的 ※	本講義では、わが国における社会的養護の理念と方向性を把握し、現在実施されている社会的養護の意義を理解する。		
到達目標	社会的養護の実践は、児童福祉における現実問題の解決という課題を担っている。まずは、その社会的養護が児童の権利の保障をめざしてどのように展開されているのかを理解する。くわえて、児童福祉のいかなる制度と実施体系のもとに実践が行われているのかを把握する。また、児童の自立支援が養護の中軸にあることを学習し、本学DPに鑑み、保育士の専門職者としての実践について理解を深めていく。		
授業内容 授業形態 ※	基本的に講義形式で行うとともに、施設の様子について視聴覚資料を通して具体的に理解する。視聴覚資料を用いながら、社会的養護における施設養護の実際形態を具体的にイメージすることを導入目標として、社会的養護の必要性や現状における課題を捕捉し、そこでの児童をめぐる社会的養護の課題を理解する。		
評価方法 ※	試験60%、授業への積極的な参加姿勢20%、レポート・課題提出20%		
評価基準			
テキスト	松本峰雄編『子どもの養護』建帛社 福祉小六法編集委員会編『福祉小六法』みらい		
注意事項			
授業シラバス	https://kcn.u-keiai.ac.jp/up/faces/up/km/Kms00801A.jsp		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	比較文学概論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金 4
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p>ホロコーストは人類史上最も残虐な大量虐殺であり、被害者と加害者の両方を人間の枠外へと追放した。本授業はホロコーストの証言テキストと小説の読解をしながら、人間存在の意義や生きる意味について学ぶことを目指すものである。人間の合理性の射程と限界を突き詰めて省察することが求められる。人間とは一体いかなる存在であるのだろうか。クラス内での真摯で活発な討議に期待している。</p>		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	<p>授業への参加度・貢献度 30% 映画のリアクションペーパー 20% 期末試験 50%</p>		
評価基準			
テキスト			
注意事項	<p>この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/) からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。</p>		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	米国史概論ⅠB	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金・4時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p><授業の概要> 米国史概論はアメリカを理解するため、通史を概観しながらアメリカのナショナリズム、政治理論、社会構造、文化、エスニシティ、国民性、記憶について学ぶ授業である。米国史概論Ⅰではとりわけ建国期から太平洋戦争までを取り上げ、アメリカのリベラル・デモクラシー、国内政策、外交政策、エスニック・グループ、パブリック・ディプロマシー、戦争と記憶について理解を深めていく。</p> <p><授業の形態> 主な授業形態は、講義である。適宜、グループワークでディスカッションを行う。</p> <p>【講義】 講義では講師の説明を聞いて、アメリカ史におけるキーワードを知識として身に着けることが求められる。受講生はこうした知識を土台として、アメリカ史の出来事に関する史実的な意味について考察を深めていく。</p> <p>【グループワーク】 社会科学は現在でも議論が行われているような、答えが決して1つとは限らない内容と向き合う学問である。そのような問いについては講師の説明に加え、グループディスカッションで周囲と意見を交わすことが重要で、イシューについてのさらなる理解に繋がる。</p> <p><必要な準備学習></p> <p>【予習】 受講生はシラバスに基づき、自主的に予習を進めることができる。また講義毎に参考文献を紹介するので、事前に目を通しておくと講義の内容をより効果的に身に着けることができる。</p> <p>【復習】 学習内容を自分のものにするため、復習は非常に重要である。授業毎に配布される資料を使いながら、講義の最中にとったノートなどを適宜参照して復習することを強く推奨する。</p>		

到達目標	<p><目的・到達目標></p> <p>学生は米国史概論Ⅰを終えた時点で、以下の点について史実に基づいて説明することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アメリカの根幹を為す価値の1つであるリベラル・デモクラシーについて。 2. エスニック・グループの関係性が、アメリカの人権意識や社会構造にどのような影響を及ぼしているのか。 3. アメリカのパブリック・ディプロマシーをめぐる議論、並びにその目的について。
授業内容	
授業形態 ※	対面
評価方法 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・平常点：30ポイント ・授業内での取り組み・発言：10ポイント ・課題：10ポイント ・最終レポート：50ポイント <p>合計：100ポイント</p>
評価基準	
テキスト	
注意事項	<p>この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/) からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。</p>

<p>授業シラバス</p>	<p> イントロダクション、アメリカン・インディアンについて 植民地時代 アメリカ独立革命 新共和国の建設 市場革命と領土の拡大 南北戦争と「再建の時代」 金ぴか時代から革新主義へ 第1次世界大戦と黄金の1920年代 ニューディールとフランクリン・D・ローズベルト (Franklin Delano Roosevelt) アメリカ史の人種、エスニシティ、女性 文化国際主義とパブリック・ディプロマシー 日米間の文化交流－日米学生会議 太平洋戦争 戦争と記憶☒ 総括 </p>
---------------	---

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	米国研究入門ⅠA	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金・5時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p><授業の概要> 米国研究入門Ⅰでは、様々なテーマを扱いながらアメリカへの理解を深める。第1部のテーマは「空間、環境、経済発展」で、アメリカ経済の発展や環境倫理について学ぶ。第2部「様々なアメリカ人」では白人、アフリカ系アメリカ人、アジア系アメリカ人といった人種・エスニック・グループの存在に加え、フェミニズムやジェンダーの変遷を扱う。第3部「国民統合の制度と文化」ではアメリカのリベラル・デモクラシー、国民統合という国家の根幹的な価値や制度の他に、キリスト教、ハリウッド映画、ポピュラーカルチャーといった文化にも焦点を当ててアメリカ像を考察していく。</p> <p><授業の形態> 主な授業形態は、講義である。適宜、グループワークでディスカッションを行う。</p> <p>【講義】 講義では講師の説明を聞いて、アメリカ史におけるキーワードを知識として身に着けることが求められる。受講生はこうした知識を土台として、アメリカ史の出来事に関する史実的な意味について考察を深めていく。</p> <p>【グループワーク】 社会科学は現在でも議論が行われているような、答えが決して1つとは限らない内容と向き合う学問である。そのような問いについては講師の説明に加え、グループディスカッションで周囲と意見を交わすことが重要で、イシューについてのさらなる理解に繋がる。</p> <p><必要な準備学習> 【予習】 受講生はシラバスに基づき、自主的に予習を進めることができる。また講義毎に参考文献を紹介するので、事前に目を通しておくと講義の内容をより効果的に身に着けることができる。</p> <p>【復習】 学習内容を自分のものにするため、復習は非常に重要である。授業毎に配布される資料を使いながら、講義の最中にとったノートなどを適宜参照して復習することを強く推奨する。</p>		

到達目標	<p><目的・到達目標></p> <p>学生は米国研究入門Ⅰを終えた時点で、以下の点について自分の意見を述べることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アメリカにおけるリベラル・デモクラシーが多文化社会に与える可能性、並びにその限界について。 2. アメリカという国民国家における人種やエスニック・グループの重要性と、既存の統合理論の妥当性について。 3. アメリカが覇権国である根拠と、今後の覇権国としての地位・役割に関する展望。
授業内容	
授業形態	対面
評価方法 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・平常点：30ポイント ・授業内での取り組み・発言：10ポイント ・課題：10ポイント ・最終レポート：50ポイント <p>合計：100ポイント</p>
評価基準	
テキスト	<p>アメリカの歴史－テーマで読む多文化主義の夢と現実 有賀夏紀、油井大三郎（編）</p> <p>有斐閣 2002 4641121621</p>
注意事項	<p>この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/) からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。</p>
授業シラバス	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション☑ 2. 環境と空間の多様性と変容－環境正義☑ 3. 経済の発展－ニューエコノミーの形成☑ 4. 文化復権を求めて－アメリカン・インディアン☑ 5. アメリカ白人の創造、6. アフリカ系アメリカ人の歴史☑ 7. 見えないアメリカ人－ラティーノ、ヒスパニック☑ 8. アジア系アメリカ人の歴史☑ 9. フェミニズム、ジェンダーとアメリカ史☑ 10. アメリカの政治思想☑ 11. アメリカ政治の歴史的変容☑ 12. 国民統合のプロセスと人種・エスニシティ、 13. 宗教と国民意識☑ 14. ポピュラーカルチャーと文化帝国主義☑ 15. 総括

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	英語学概論C	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	火・5時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p>英語は一言語としてどのような特質を備えているのか、様々な角度から考えられるようになることを目標とする。英語は語彙、発音、文法、意味などに関してどのような仕組みや規則を持っているのかを学んでいく。</p> <p>現代英語についてこのような基本事項を学習した後、英語の語彙が歴史と共にどのように増大したか、また現代英語の膨大な語彙がどのような層を成しているのかを観察する。</p> <p>ことばの仕組みを学ぶ足掛かりとして、日本語に焦点を当てることで、学生にとって分かり易く有用である場合もあるので、主に日本語のデータを扱う回もある。なお、授業の進捗状況により、スケジュール等が適宜変更されることもある。授業は講義形式で行う。内容理解を確認する問題の答え合わせなどは基本的に「グループワーク」で行い、その後クラス全体で確認する。座席は指定となる。（履修者が決定した後、座席を指定する。）授業・試験は対面形式で教室で行われる。ただし、ゴールデンウィークの期間は対面授業が行われないため、オンラインの授業となる。教材として、プリントを配布する。「学生便覧」に記されている通り、全ての講義科目は授業時間の倍の時間の自宅学習が必要とされる。「英語学概論」も、毎回の授業（90分）について、180分（＝3時間）の自宅学習が必要である。「英語学概論」では、高校までに学習してこなかったような「概念」を扱うこともあり、また抽象的な事象も扱われる。毎回の授業の後に復習して、その回の授業の内容を自分の頭の中に定着させておくことが、次の授業を理解するために必須のステップである。</p>		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		

評価方法 ※	<p>【成績評価】</p> <p>数回の試験により評価を行う（90%）。授業への貢献度も考慮する（10%）。全回出席を当然とし、欠席・早退・遅刻については『減点』し、《マイナス評価》を行う。</p> <p>試験未受験の場合、また、試験の点数が一定の基準に満たない場合は、単位が発行されない。</p> <p>また無断欠席が3回以上ある場合、単位の発行は行われぬ。</p>
評価基準	
テキスト	
注意事項	<p>この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。</p>
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	現代英文法C	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	火・5時限 金・5時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p>現代英語の文法を、日本語のそれと比較対照しながら概観する。断片的な英文法の知識を積み重ねるのではなく、「ことばの仕組み」という観点から、種々の言語現象を眺めることにより、その特徴を理解し、現代英語の文法を体系的に把握することを目標とする。一見すると多種多様な言語現象の背後には、興味深い規則性が潜んでいることを理解してもらいたい。文法というと無味乾燥で、ただ暗記するだけのものと思っている人もいるかもしれないが、この授業を通してこれまでは気付かなかった規則性について学ぶことで、文法について考えることの面白さを知ってもらいたい。同時に、日本語についても目を向け、それを英文法に活用できるようにする。</p> <p><必要な学修時間></p> <p>講義1回に対し、およそ予習に2時間、復習及び宿題に2時間が必要となる。</p> <p>予習： 講義予定箇所の予習（1.5時間）</p> <p>復習： 講義内容の理解し、用語や新しい概念を覚える。（1時間） 練習問題を解く（1時間） 補足資料などを読む。（0.5時間）</p>		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	<p>平常点（小テスト、課題）と中間試験と期末試験によって評価する。</p> <p>1) 平常点(小テスト、課題等) 10%</p> <p>2) 試験90%</p> <p>詳細は初回授業で説明する。</p>		
評価基準			
テキスト			

注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/) からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	通訳・翻訳への招待	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	金 5
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p>通訳・翻訳については、実情とかけ離れたイメージで語られることが多い。本講義では、通訳・翻訳の世界を総合的にとらえるとともに、通訳者・翻訳者を目指す際に必要な能力の養成法についても学ぶ。</p> <p>本学教員を含む、現役もしくは豊富な経験を持つ通訳者・翻訳者複数が、輪講形式で行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一ヶ月に1回程度、週末に課外授業を予定している。極力参加すること。（コロナウイルスの感染状況による） ・合宿（土日）を1回予定している。極力参加すること。（コロナウイルスの感染状況による） ・12月に開かれる学生通訳コンテストの観戦を予定している。極力参加すること。（オンライン実施の可能性もある） 		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	授業参加 30%、レポート 30%、期末テスト 40%		
評価基準			
テキスト			
注意事項	<p>この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上 (https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/) からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。</p>		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	日本語学ⅡA	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	火・5時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<p>日本語教師を目指すものが必ず知っておかなければならない日本語文法の基礎について、できるだけ網羅的に勉強してもらおう。テキストの内、自習でも内容把握が困難でないと思われる部分については、自習項目とし、小テストで確認する。また、授業で取り上げる項目についても、予習してくることを前提とする。半期完結のコースで項目のすべてを終えるためには受講者の積極的な学習への取り組みが不可欠である。また、必要に応じて、生成文法や意味論といった教科書とは違った観点からより一般的に文法を捉える方法を講義する。以下の内容における実施回は、実施週と読み替えること。</p>		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	小テスト（40％）、レポート（10％）、期末テスト（50％）		
評価基準			
テキスト			
注意事項	<p>この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。</p>		
授業シラバス			

※は必須記入事項